



■子どもの行動の例 | どうして質問ばかりするの? どうしたら、さっさと食べてくれるの? |

例) 食事の場面 ■うちの子のできているところを探しましょう!

	できる	時々できる	できない
「ごはんよ」と伝えると返事をする	●		
「ごはんよ」と伝えると食卓へ来る	●		
いすに座る	●		
「いただきます」を言う	●		
スプーンをもつ	●		
スプーンですくう	●		
スプーンですくったものを口に運ぶ	●		
続けてスプーンですくう	●		
続けてすくったものを口に運ぶ	●		

今回の例題の子どもは、食事の時間には、すぐ食卓に来て、食事も一人で食べられる子どもです。
でも、どうしてママは困っているのでしょうか? この子は大好きなママとお話したいのです。でもママは、食事の時間は、おしゃべりしないで集中して食べて欲しいと思っています。この親子は思いがすれ違っています。このまま、すれ違いが続くと、この親子はどうなるでしょう??

子育てヒント

子どもからの「はなしをする」「質問をする」「近寄ってくる」などの発信に親が向き合うことは、親子にとって特別な時間になるでしょう。そのような関わり(1分~2分)の積み重ねが子どもと良い関係を築くことに繋がります。

また、励ましの言葉をたくさんかけられた子どもは、自分自身を肯定的に捉えることが期待できます。

上の表をみても、できることがたくさんあります。例えば、食卓にすぐ来た時など「ゆう君は、呼ばれたら、すぐに食卓に来てくれるから助かる」などと子どもを認める(ほめる)声掛けからスタートする食事の時間も良いですね。



例の「食事の場面」で考えてみましょう。



■子育てのコツ

「子どもと話す」

(子育て手帳 P. 18 を参考にしてみましょう)

子どもは親と話をすることによって、話し方を学び、コミュニケーションの力を身につけることができます。

また、子どもの知的発達を促すことが期待できるでしょう。

子どもとは、話すことと聞くことの両方を練習しましょう。

話をする中で、励ましの言葉をたくさんかけられた子どもは、自分自身を肯定的に捉え、健全な自尊感情を育むことに繋がります。

例) 野菜の名前を聞く

子ども「これ何？」

親「なんだと思う？」

子ども「キャベツ？」

親「そうかな？食べてみて」

子ども「やっぱり、キャベツだよ」

親「正解！よく分かったね」



子どもが興味をもったことを発展させて、子どもに基本的な生活習慣を身につける機会をつくってみませんか。

例) ・食事に使う材料を一緒に買い物行く

- ・料理に使う食材を冷蔵庫から出すお手伝いをしてもらう
- ・食べるメニューを一緒に作る
- ・食器の準備をする
- ・食べやすい工夫をする
(手で食べれるものやお弁当箱にいれるなど)
- ・家族でおかわりをする



自分でやろうと努力していること、自分でできたことを認め(ほめ)て励ましましょう。

例) 「くみちゃん、スプーンを使うのが上手ね」「みかちゃんが作ったおにぎりおいしいね」



※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。

市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。

